



SHIBETSU ROTARY CLUB DISTRICT 2500 JAPAN

士別ロータリークラブ会報

Vol.031

No.2923

創立 1960・3・24

RI 第 2500 地区

2025-2026 年度 国際ロータリー・テーマ
会長 フランチェスコ・アレツォ
「よいことのために手を取り合おう」

UNITE FOR GOOD

2025-2026 年度 RI2500 地区・スローガン
「Rotary のことを熱く語ろう！
～ Rotarian Benefits を紡ぎ、そして育むために～」

- RI HP <https://www.rotary.org/ja>
- 2500 地区 HP <https://2025-2026.rid2500.jp/>
- 士別 RC HP <http://www.douhoku.jp/sibeturc/>
- 例会場／士別グランドホテル
- 例会日／毎週月曜日 12:10～13:10

2025-2026 年度
士別ロータリー・スローガン

「精力善用～
それぞれの持てる力を共に奉仕へ」

- 会長／但木 行久
- 副会長／井口 裕史
- 幹事／山下 卓巳
- 事務所／士別グランドホテル（東 3 条 6 丁目）
TEL 0165-23-1234

第 3022 回例会 2026 年 6 月 29 日（月）

今日のプログラム：夜間例会

● 前回（6 月 15 日）の記録／例会・ゲスト卓話・結婚祝い

司 会 片庭隆暁 会場監督
 斉 唱 我等の生業・四つのテスト
 本日の出席 会員 46 人中 出席者 11 名 出席率 76.09% 修正 84.78%
 本日の欠席 榎本實男、大橋直幸、工藤雅史、穴戸 淳、田中道也、寺山佳之、奈良康弘、
 深尾幸夫、細川博司、山本政史、北村浩史

ゲ ス ト 士別翔雲高等学校 校長 小原 茂 氏

メイクアップ

ニコニコ BOX 井口裕史（3 人目のお孫さん誕生祝）

累計 291,000 円

● 例会予定

◆ 7 月例会（母子の健康月間）

- 7 月 6 日（月） 例会・理事会
- 7 月 13 日（月） 例会
- 7 月 20 日（月） 休会（法定休日：海の日）
- 7 月 27 日（月） 夜間例会

◆ 8 月例会（会員増強・新クラブ結成推進月間）

- 8 月 3 日（月） 例会・理事会
- 8 月 10 日（月） 振替休会（法定休日：山の日）
- 8 月 17 日（月） 早朝例会
- 8 月 26 日（水） ガバナー公式訪問例会（夜間例会）
- 8 月 29 日（土） 夜間例会（移動）

■会務報告・・・但木行久 会長

お皆さん、こんにちは。

本日は、クラブより大切なお知らせがございます。残念なお知らせとなりますが、長年にわたり士別ロータリークラブを支え、私たちに、多くの学びと励ましをくださった尾崎会員、細川会員、大野会員が今年度を持ちまして、このたび退会されることとなりました。

尾崎会員は、平成16年に士別ロータリークラブへ入会し、例会や奉仕活動の場で常に温かい笑顔で、ユーモアを忘れず、ロータリアンとしての姿勢を私たちに示してくださいました。特に、ロータリー文庫に関しては、尾崎会員無くしては、続けてこられなかった、奉仕活動であります。長きに渡りご指導いただいた事に感謝申し上げます。

細川会員におかれましては、平成24年に入会され令和4年に会長を務められましたが、現在病氣療養中とのことで、先日、お見舞いに行ってきましたが、これから闘病生活に入るため退会したい旨のご連絡をいただきました。

現在、札幌に入院されており、無事に手術を終えられ、回復される事を願っております。

大野会員におかれましては、平成4年に入会され、35年と長きに渡り、士別ロータリークラブの指針を示され、後進指導にも御尽力頂きました。

私自身も、大野会員の推薦の元、ロータリークラブに入会することができました事に、感謝しているところでございます。

大野会員におかれましては、士別ロータリークラブ 終身会員規約要綱、第1条の目的、第2条の資格 に基づいて、理事会承認、例会報告をもって【終身会員】の称号を付与することとなりました。

大野会員におかれましては、引き続きのご指導をよろしく申し上げます。

先輩方の退会は、大変残念ではありますが、残された私たちが、先人の、ロータリー精神を受け継ぎ、地域のために、奉仕を続けることが、最大の感謝の形であり、恩返しだと考えます。

尾崎会員、細川会員、大野会員におかれましては、長年にわたるご尽力に、心より感謝申し上げます。今後も、少し離れた場所から士別ロータリークラブを見守っていただけることをお願い致しまして、以上、会務報告と致します。

■幹事報告・・・山下卓巳 幹事

①6月のロータリーレートは、159円です。

②今年度最終夜間例会のご案内をいたしました。ご家族の方をお誘いあわせの上参加願

います。ご回答がまだお済でない方は早めに回答をお願いいたします。

③先般、入会申込のあった、大野裕継さんですが反対意見はありませんでしたので7月1日より入会となります。皆様暖かくお迎えしましょう。

■委員会報告・・・鈴木春樹 出席委員長

本年度、100%例会出席者表彰

井口裕史、泉谷 勇、尾崎 学、織戸俊二、片庭隆暁、加藤洋之、神田英一、神田裕教、菊地 仁、佐藤元信、佐藤元保、志村孝幸、鈴木春樹、但木行久、田中洋和、谷 温恵、谷村一文、近井孝義、富田克彦、福島和秀、法邑和浩、山下卓巳、山本政史、23名の会員

■次年度報告・・・鈴木春樹 次年度幹事

①本日最終夜間例会後の二次会の案内をお配り致しました。送別会も兼ねての開催ですので多くの会員家族のご出席をお願い致します。

②7月4日開催のふれあい広場でポリオ撲滅運動の募金活動を行います。こちらも多くの会員の出席をお願い致します。

■その他報告・・・谷村一文 会員

今週の6月17日に資産形成のセミナーが市民文化センター1階研修室で開催されます。

北海道銀行とほくほくTT証券の主催で去年は70人ほどの人が集まりましたので、今回も沢山の参加をと依頼を受けましたのでご案内申し上げます。

■結婚祝い(6月)・・・

財団米山奨学委員会 近藤峯世 委員長



大江智宣、尾崎 学、山下卓巳、福島和秀、泉谷 勇、寺山佳之(欠席) 各会員

■ゲスト卓話・・・

士別翔雲高等学校 小原 茂 校長

士別ロータリークラブの皆様には例年に渡りご寄付を賜り学びと成長を力強く後押しして頂いております。あらためて深くお礼申し上げます。

本日は本校の現状や課題、今後の高等学校の方向性についてお話し致します。



①学校概要

平成19年(2007年)に土別高校と土別商業高校の再編統合により、土別翔雲高校として開校し、今年度で創立20年目を迎えた。現在、普通科・総合ビジネス科の計10学級規模の学校となっている。

【令和8年5月1日現在の在籍生徒数】

1年3CL	普通71	総ピ14	合計85
2年4CL	普通80	総ピ14	合計94
3年3CL	普通70	総ピ18	合計88
合計10CL	普通145	総ピ121	合計267

②今年度の経営の重点

- (1)安心して学び、挑戦・成長できる学校づくり
- (2)地域と歩む持続可能な教育の実現のための組織的・継続的な仕組の構築
- (3)入学者確保に向けた魅力ある学校づくりの推進と取組の周知

③学校経営上の課題

- (1)間口減や教職員数減を見据えた教育課程の編成・実施
- (2)学びの質を高める教職員の専門性・教育的力量の向上に向けた取組の推進
- (3)総合的探究の時間をはじめとする地域と連携・協働した教育活動の推進

④学校運営協議会の設置

令和7年に学校運営協議会を設置、令和8年から運用開始

【学校運営協議会の委員構成(所属組織)】

土別市役所、教育委員会、社会福祉協議会、郷土研究会、土別駅長、大野土建(株)、高橋建設(株)、名寄市立大学、地域おこし協力隊、翔雲高校PTA、翔雲高校同窓会、翔雲高校(校長・教務部長・生徒指導部長・商業科長)

⑤具体的な取組例

(1)教育課程

・難関大学から専門学校・就職まで幅広い進路希望に対応する教科・科目の開設

- ・数学での習熟度別授業の実施、少人数指導等、生徒の実態に応じたきめ細かな指導の充実
- (2)特色ある教育実践
 - ・姉妹都市ゴールバーン・マルワリー市(オーストラリア)への短期留学及び国際交流
 - ・地元企業と連携した商品開発及び販売実習
 - ・授業研究をはじめとする近隣小中学校との連携(探究学習発表会、部活動連携等)
 - ・下川商業高校(地域連携校)との交流授業(森林体験学習、課題研究発表会等)

⑥高等学校授業料無償化に係る影響分析 道教委 R8.5.29

- ・入学者が約1,000名、私立高校へシフト。ただし、地域ごとにばらつきがあり
- ・私立高校の志願者数に対する入学者の割合が増加
- ・上川午学区では、私立高根への入学者966人(R7)→1,076人(R8)へ増加
- ・他学区から石狩学区の私立高校へ入学する者が増加
- ・上川北→上川南(37→27、10人減)

⑦高校をめぐる今後の動き

- (1)2020年から2040年にかけての20年間で、高校1年生の人数が約36%減少
 - (2)全国の市町村のうち約64%の自治体では、公立高校の数がすでに0か1であるという現状
- ★NEXT(N-E.X.T.)ハイスクール構想
2040年の社会を見据えて高校教育を根本から作り替えるために文部科学省が進める全国的な改革構想。普景には、少子化・人口減少、AI時代の到来、理数・デジタル人材の不足といった大きな社会変化があります。

〈普通科改革〉

- (1)文理の枠を超えた学び(文理横断)
 - (2)探究を核としたカリキュラム(探究の高度化)
 - (3)地域・社会とつながる学び(地域連携・多様な学びの保障)
- ※普通科は「進学準備の場」から未来を創る学びの場へと変わる。



60周年記念事業、土別翔雲高校へのボランティア活動助成金(10年間)授与(2019~2028年度)